

大きくなって帰ってこいよ 阿賀野川で鮭の稚魚15万びきを放流

3月11日、東町の阿賀野川河川敷で鮭の稚魚が放流されました。

町内の漁協組合員を含む阿賀野川漁業協同組合連合会の8名は、小雨が混じるなか、トラックに積まれた水槽から、バケツやビニールホースを使って、体長6cmほどに成長した稚魚15万びきを次々と放流し、20分ほどで作業は終わりました。組合では放流を毎年続けており、すでに20年以上にもなります。

成長した鮭が阿賀野川に帰ってくるのは約4年後。阿賀野川では、11月・12月には鮭漁をする姿がよく見られ、鮭料理が町の自慢料理となっていますが、たくさんの鮭が捕れる背景には、このような地道な努力がなされています。



今度は男子チームが県No.1に 「三國コカ・コーラ杯」第7回新潟県小学生バレーボール新人大会

「やったー」大きな歓声と拍手が会場内に響きわたった。3月5日、新潟市東総合スポーツセンターで開催された県新人大会で横越町バレーボール少年団男子（チーム名：横越JVC）が県内の強豪チームを破り、見事優勝を果たしました。

3年前、同少年団女子（チーム名：横越ブラックキャッツ）が同じくこの新人大会で優勝を果たし、その年の夏、全国大会に出場しています。男子も今回の優勝で全国大会出場への期待が大きくなりました。

全国大会地区予選、県予選は6月に行われます。ご健闘をお祈りいたします。（大会成績は、今月号19ページ「総合体育館からのお知らせ」に記載）

9年間の義務教育を修了し 172名 思い出を胸に大きくはばたく

3月10日、横越中学校で卒業証書授与式が行われました。今年の卒業生は、男子85名、女子87名の計172名。

樋熊校長先生は「独立心と責任を持つこと、常に学ぶ心を持つこと、たくましい心と体をつくることをしっかりやって、がんばってください」と卒業生を励ましました。在校生代表は「体育祭、文化祭、部活動など、いつも輝いていた3年生は、私たちのあこがれです」と別れを惜しみ、卒業生の代表は「たくさんのことを学び、たくさんの楽しい思い出をつくることができた3年間でした」と中学校生活を振り返りました。

最後に、これまでの感謝とこれからの決意を込めて、卒業生全員が「大地讃頌」を大合唱し、会場内は大きな拍手に包まれました。



町内でとれた食材にこだわった料理がズラリ！ 「よこごしの味を楽しむ集い」開催

2月26日、北方文化博物館の食事処「みそ蔵」において、阿賀の里づくり・よこごしの主催による「よこごしの味を楽しむ集い」が開催されました。

5回目となる今回は、友だちや家族など町内外からおよそ100名が参加。町内でとれた食材を中心に作ったヘルシーでおいしい料理を味わってもらおうと、スタッフが朝早くから調理に腕を振っていました。

会場では、メニューの紹介や作り方を紹介しながら、参加者たちは、よこごし鍋、横越ポークの手作りハーブソーセージ、ル・レクチェソースをかけた生乳パバロアなどおよそ10数品に舌鼓を打っていました。

町内の女性は「体によさそう。チャンスがあればまた参加したい」と感想を述べていました。



151名が大人の仲間入り 平成12年度 成人式

3月20日（春分の日）、サンウイング横越で成人式が開催されました。

成人を迎えたのは151名。当日は式場にスーツ姿や色とりどりの着物を着飾った104名の出席がありました。

町長から「皆さんに会うのは、保育園の入園式から数えて7回目です。本当に立派になりました。これからは自己責任を持って行動してください」とあいさつがありました。

成人者を代表して村手淳史さん、田村佳子さんから「社会の中で、私たちは権利を持つだけでなく、義務や責任を帯びていることを忘れずに生きていきます」など誓いの言葉を述べ、気持ちを新たにしていました。



町シルバー人材センター主催 「ふすま、障子の張り替え講習会」開催

2月21日、町シルバー人材センターの主催により、「ふすま、障子の張り替え講習会」がサンウイング横越を会場に開催されました。

ふすまや障子の張り替えの依頼が住民から度々あり、これに応えようと昨年からの講習会を始め、今回で2回目。

60名ほどの参加者は、使う用具や張り替えの手順などの講習を受けた後、古いふすま紙をきれいにはがし、新しいふすま紙を張る作業などを講師から教えてもらい、カッターナイフや定規の使い方に気をつけたり、のりの硬さを指の感触で確かめたりしながら、ひとつひとつ丁寧に作業を行いました。

参加者からは「ためになった。自宅で張り替えができる自信を持つことができた」という声が聞かれました。